令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　80

事務事業名称		開発行為等に伴う寄附・帰属等道路処理事務						
担当部署（R8年度機構）		部：　土木部		課：　道路河川管理課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明（R5年9月）	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2004（H16）年度　～　事業終了予定：　未定（継続実施含む）						
	根拠法令等	都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続等に関する条例、決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質：　—						
詳細項目	事業の目的（最終アウトカム）・目指すべき状態・課題が解決した状態	開発行為等に際し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続きに関する条例に基づき、道路形状構造等について開発者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図れている。						
	対象者（受益者）	開発事業等に伴い開発業者等が整備する道路施設を市へ移管することにより宅地等の土地利用を図りたいと計画する人。						
	現状・課題	法令等に基づいた手続きが必要となり、複数の関係課と並行して協議を進める必要がある。 各段階で多くの書類提出が求められるが、重複している書類も多く受益者の負担が大きい。						
	事業の概要	開発行為等に際し、都市計画法、道路法、枚方市開発事業等の手続きに関する条例に基づき、道路形状構造等について開発者等と協議を行い、良好な道路環境、形成を図る。						
	年間の主な事務	・開発条例等に伴う協議及び検査 ・一般市民等からの道路寄付						

2. 事務事業への投入コスト（インプット）

人員体制	（人）	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
	正職員	2.30人	2.20人	—	—
	再任用	0.00人	0.00人	—	—
	任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
	会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
	特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
	附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額	（千円）	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額（参考）	予算執行率（参考）
歳出 内訳	正職員、再任用、任期付職員	17,682	18,060	—	—		
歳出 内訳	会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳	特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳	附属機関委員	0	0	—	—		
歳出	人件費計	17,682	18,060	—	—		
歳出	物件費計	0	0	—	—	0	0.0%
歳出計		17,682	18,060	—	—		
歳入	国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入	府支出金	0	0	—	—	0	
歳入	受益者負担（使用料・手数料）	0	0	—	—	0	
歳入	市債	0	0	—	—	0	
歳入	その他	0	0	—	—	0	
歳入計（物件費に充当される特定財源）		0	0	—	—	0	
一般財源（物件費充当分のみ）		0	0	—	—	0	

（留意事項）
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 開発条例等に伴う協議	件	183 件	186 件	— 件	— 件
② 開発条例等に伴う検査	件	227 件	225 件	— 件	— 件
③ 道路寄付(一般寄付)	件	8 件	16 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	協議および検査について、適正かつ円滑に事務を行うことができた。
R7年度	協議および検査について、適正かつ円滑に事務を行うことができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	法令や条例、その他要綱等に基づき、開発者等と道路構造形状等の協議を行い、良好な道路の環境整備に努める。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　81

事務事業名称		道路等管理事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　道路河川管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　2004(H16)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	安全で利便性の高い道路が維持できている						
	対象者(受益者)	道路の利用者						
	現状・課題	道路の管理瑕疵による事故がないようパトロールを継続的に実施し道路の安全を確保する						
	事業の概要	路線認定 道路パトロール						
	年間の主な事務	路線認定 道路パトロール						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	6.25人	6.00人	—	—
再任用	0.00人	1.50人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	1.60人	1.60人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	48,050	57,204	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	3,190	7,582	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	51,240	64,786	—	—		
歳出 物件費計	73,960	78,508	—	—	92,587	84.8%
歳出計	125,200	143,294	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	22,541	20,315	—	—	20,724	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	17,142	196	—	—	125	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	39,683	20,511	—	—	20,849	
一般財源(物件費充当分のみ)	34,277	57,997	—	—	71,738	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 路線認定延長	m	1,794 m	2,415 m	— m	— m
② 道路パトロールによる損傷	件	111 件	113 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	件数の減少している事務があったものの、業務処理に時間がかかったため人員は増加となった。 路線認定数　29件、道路管理瑕疵に基づく賠償 0件、道路施設損傷 34件、 放置自動車等調査　1件、不法投棄処理　83件、 道路パトロールによる損傷確認　111件
R7年度	件数が増加した事務が多く、人員は増加した。 路線認定　35件、道路管理瑕疵に基づく賠償　1件、不法投棄　75件、道路パトロールによる損傷確認　113件
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	継続して効率的な事務執行を行う。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　82

事務事業名称		道路占用・掘削許可事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　道路河川管理課		区分	義務的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	非選択的区分	
	総合計画 施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　2004(H16)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	道路法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	申請時または事前に協議を行い、手続きの進行がスムーズにできている。						
	対象者(受益者)	道路許可等を必要とする者						
	現状・課題	法令等に基づいた手続きが求められている						
	事業の概要	道路法等に基づく許可及び占用料の徴収						
	年間の主な事務	道路法等に基づく許可及び占用料の徴収						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.00人	2.26人	—	—
再任用	1.00人	0.10人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	1.04人	1.02人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	20,703	19,082	—	—		
		会計年度任用職員	1,278	4,153	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		21,981	23,235	—	—		
	物件費計		0	0	—	—	0	0.0%
歳出計			21,981	23,235	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 道路占用許可申請	件	1,616 件	1,933 件	— 件	— 件
② 道路工事施行承認申請	件	203 件	250 件	— 件	— 件

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：—

指標：—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：—

指標：—

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	例年と比較して申請件数は少なかった。 道路占用許可申請　1,616件 道路工事施行承認申請　203件
R7年度	昨年度と比較して、申請件数は増加した。 道路占用許可申請　1,933件 道路工事施行承認申請　250件
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　83

事務事業名称		法定外公共物整理事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　道路河川管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	1.安全で、利便性の高いまち				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	4.安全で快適な交通環境が整うまち				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　2000(H12)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市法定外公共物の管理に関する条例、地方分権一括法、決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	現に公共の用に供されている法定外公共物(里道・水路)の譲与受けが完了し、適正な機能管理ができている。						
	対象者(受益者)	法定外公共物の利用者、隣接者等						
	現状・課題	境界確定がなされていないものが多く、機能の有無を判定するにあたり、位置の特定が困難						
	事業の概要	機能を有する法定外公共物(里道・水路)の未譲与物件について追加譲与申請を行い、現況機能に応じた管理を行う。 機能のない譲与受物件について、隣接者から払下げ申請があれば用途廃止を行い処分手続きを進める。						
	年間の主な事務	・機能あり法定外公共物(里道、水路)の追加譲与申請手続き ・既譲与物件の用途廃止手続き						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.55人	0.55人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)	R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出 内訳 正職員、再任用、任期付職員	4,228	4,515	—	—		
歳出 内訳 会計年度任用職員	0	0	—	—		
歳出 内訳 特別職非常勤	0	0	—	—		
歳出 内訳 附属機関委員	0	0	—	—		
歳出 人件費計	4,228	4,515	—	—		
歳出 物件費計	0	0	—	—	98	0.0%
歳出計	4,228	4,515	—	—		
歳入 国庫支出金	0	0	—	—	0	
歳入 府支出金	0	0	—	—	0	
歳入 受益者負担(使用料・手数料)	8,102	0	—	—	0	
歳入 市債	0	0	—	—	0	
歳入 その他	0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)	8,102	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)	0	0	—	—	98	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 追加譲与手続き	件	2 件	4 件	— 件	— 件
② 用途廃止手続き	件	10 件	5 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	開発事業や公共事業に伴う追加譲与の相談が少なかった為、全体の件数としては前年度を下回った。相談の受付分については円滑に事務を実施できた。
R7年度	開発事業や公共事業に伴う用途廃止の相談が少なかった為、全体の件数としては前年度を下回った。相談の受付分については円滑に事務を実施できた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	追加譲与の件数は、今後大きく増加することはないと思われるが、用途廃止については今後も増加すると想定されるため、相談があれば調査を速やかに行い、円滑な事務処理に努める。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　806

事務事業名称		河川・水路・法定外水路境界明示事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部	課:　道路河川管理課		区分	行政運営事業		
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり			細区分	行政運営区分		
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます			性質	交通・都市基盤		
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　2011(H23)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、枚方市手数料条例						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界確定についてスムーズな手続きができている。						
	対象者(受益者)	準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者						
	現状・課題	所有する土地の売買や開発等にあたっては、隣接道路等との境界を確定する必要がある。						
	事業の概要	本市が管理する準用河川・法定外公共物(水路)に隣接する土地所有者からの申請に基づき、その土地と水路等の境界について、双方現地立会で境界線の位置を協議のうえ定める。						
	年間の主な事務	申請書の受領 現地立会 指令書の発行						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	2.38人	2.55人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	18,297	20,933	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		18,297	20,933	—	—		
	物件費計		228	194	—	—	412	47.1%
歳出計			18,525	21,127	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		1,076	194	—	—	194	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			1,076	194	—	—	194	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	0	—	—	218	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 既明示証明交付	件	8 件	14 件	— 件	— 件
② 新規明示	筆	184 筆	186 筆	— 筆	— 筆

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明	—				
指標	—				
	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明	—				
指標	—				
	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	新規明示、既明示証明交付ともに前年度より減少しているが、申請に対し、適正な事務執行ができた
R7年度	新規明示、既明示証明交付ともに前年度より増加した。申請に対し、適正な事務執行ができた
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	申請があれば速やかに調査・調整を図り、円滑かつ適正な事務執行に努める。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　807

事務事業名称		準用河川等管理事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　道路河川管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　2011(H23)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	河川法、枚方市法定外公共物の管理に関する条例、同施行規則、枚方市準用河川占用料条例、同施行規則、枚方市準用河川の管理に関する規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	河川法を遵守した土地利用ができている。						
	対象者(受益者)	準用河川の利用者、隣接者等						
	現状・課題	準用河川等の適切な管理を求められている。						
	事業の概要	準用河川の河川法に基づく許可及び占用料等の徴収 国、府の管理する河川、水路等の占用許可の経由事務						
	年間の主な事務	準用河川の河川法に基づく許可及び占用料等の徴収 国、府の管理する河川等の占用許可の経由事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.77人	1.92人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.10人	0.10人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	13,608	15,761	—	—		
		会計年度任用職員	322	474	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		13,930	16,235	—	—		
	物件費計		0	0	—	—	1	0.0%
歳出計			13,930	16,235	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		3	0	—	—	1	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			3	0	—	—	1	
一般財源(物件費充当分のみ)			0	0	—	—	0	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 河川占用許可申請	件	56 件	29 件	— 件	— 件

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	河川占用許可申請は増加しているが、適正に事務を執行できた
R7年度	前年度と比較して、河川占用許可申請は減少したが、適正に事務を執行できた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	申請や要望に対し、適正に審査し、速やかに事務を執行する。	R8年度方向性	**現状維持**

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	**現状維持**	**現状維持**	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　808

事務事業名称		中部別館維持管理事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　道路河川管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					○	○		
	事業期間	事業開始：　1990(H2)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	枚方市庁舎管理規則						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	庁舎を適正に維持管理し、効果的・効率的に活用することで、業務水準の維持を図るとともに、緊急時、災害時の機能確保が可能となる。						
	対象者(受益者)	土木部中部別館で勤務する職員/市民、事業者						
	現状・課題	庁舎機能が不全であると業務効率が低下するとともに、災害時の機能維持が困難になる。						
	事業の概要	土木部中部別館の庁舎(事務所及び車両・資材置き場)としての機能等を確保するため維持管理業務を行う。 施設の維持管理上必要な保守点検については、施設総合管理委託等を導入し、より効率的に実施する。						
	年間の主な事務	施設管理に必要となる、保守点検等の委託事務および進捗管理						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.35人	1.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	10,379	8,209	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		10,379	8,209	—	—		
	物件費計		15,126	15,949	—	—	17,621	90.5%
歳出計			25,505	24,158	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			0	0	—	—	0	
一般財源(物件費充当分のみ)			15,126	15,949	—	—	17,621	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 電気工作物管理業務	回	6 回	6 回	— 回	— 回
② 冷暖房設備点検業務	回	4 回	4 回	— 回	— 回
③ 防災設備点検業務	回	2 回	2 回	— 回	— 回
④ 受水槽清掃・点検業務	回	2 回	2 回	— 回	— 回
⑤ エレベーター点検業務	回	4 回	4 回	— 回	— 回
⑥ 自動扉点検業務	回	4 回	4 回	— 回	— 回
⑦ 衛生管理業務	回	2 回	2 回	— 回	— 回
⑧ 防火設備・建築物・建築設備定期点検業務	回	1 回	1 回	— 回	— 回

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					—
実績					—
算出方法	—				

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	平成30年に発生した大阪北部地震による建物の破損や老朽化が著しい状態である。本年度に関しては、受変電設備更新工事設計を行った。法定点検や施設の老朽化に伴う修繕工事等を今後も適宜実施していく。
R7年度	環境部主導による照明のLED化工事が完了した。受変電設備更新工事設計については令和6年度に引き続き7年度も不調に終わった。令和8年度、自主設計による受変電設備更新工事を予定。築35年を過ぎた設備の不具合について、順次対応を行う。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	風水害・土砂崩れ等災害対策のため、現業職・技術職・事務職の拠点として引続き維持管理を行う。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　812

事務事業名称		枚方市道路長寿命化計画事業						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　道路河川管理課		区分	持続的事業	
基本項目	総合計画 基本目標	6.計画の推進に向けた基盤づくり				細区分	維持管理区分	
	総合計画 施策目標	31.持続可能な行財政運営を進めます				性質	交通・都市基盤	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度 —	R7年度 —	R8年度	R9年度
	事業期間	事業開始：　2011(H23)年度　～　事業終了予定：　未定(継続実施含む)						
	根拠法令等	道路法						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし　補助金性質:　—						
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	計画に基づいた点検、修繕を実施し、持続可能な道路施設の維持管理が継続できており、道路を安全・安心に通行できることで、人の交流や、物流が円滑に進んでいる。						
	対象者(受益者)	道路の利用者						
	現状・課題	道路施設の維持管理を適切に行うことにより道路の利用者の安全を確保する。						
	事業の概要	枚方市道路長寿命化修繕計画に基づき効率的・効果的で持続可能な道路施設の維持管理						
	年間の主な事務	枚方市道路長寿命化修繕計画に基づく点検						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	0.90人	0.70人	—	—
再任用	0.00人	0.40人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	6,919	7,866	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		6,919	7,866	—	—		
	物件費計		7,161	8,063	—	—	9,100	88.6%
歳出計			14,080	15,929	—	—		
歳入	国庫支出金		669	1,438	—	—	3,300	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	0	—	—	0	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		0	0	—	—	0	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			669	1,438	—	—	3,300	
一般財源(物件費充当分のみ)			6,492	6,625	—	—	5,800	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動(アクティビティ)

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① 道路施設点検	個所	23 個所	30 個所	— 個所	— 個所

4. 活動による結果(アウトプット)および変化・便益(アウトカム)

ロジックモデル

アウトプット(活動が産み出した結果)

アウトプット①

説明: 「枚方市道路長寿命化計画」に係る取り組みが確実に推進される。

指標: 道路施設点検を完了した箇所数

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	23	30	142	63	箇所
実績	23	30	—	—	箇所

算出方法: 計画に基づいて実施した道路施設点検箇所数

直接アウトカム(結果による変化・便益)

アウトカム①

説明: —

指標: —

	R6	R7	R8	R9	単位
目標	—	—	—	—	—
実績	—		—	—	—

算出方法: —

5. 中長期的な変化・便益(中間アウトカム)

—

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	計画通り実施することができた。
R7年度	計画通り実施することができた。
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針(改善・対応策など)

R8年度取組方針	計画に基づき、道路施設の点検を実施する。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性(R5実績測定)	R7年度の方向性(R6実績測定)	R8年度の方向性(R7実績測定)	R9年度の方向性(R8実績測定)	R10年度の方向性(R9実績測定)
	現状維持	現状維持	現状維持	—	—

令和7年度　事務事業実績測定調書

1. 事務事業の基礎情報

調書番号　946

事務事業名称		道路河川管理課運営事務						
担当部署(R8年度機構)		部:　土木部		課:　道路河川管理課		区分	行政運営事業	
基本項目	総合計画 基本目標	9.施策体系外				細区分	行政運営区分	
	総合計画 施策目標	99.施策体系外				性質	内部事務・行政運営	
	市長公約との関係性	所信表明(R5年9月)	—	市政運営方針	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
					—	—		
	事業期間	事業開始：　不明		～		事業終了予定：　未定(継続実施含む)		
	根拠法令等	決裁						
	関係附属機関等	該当なし						
	関係補助金等	該当なし				補助金性質:　—		
詳細項目	事業の目的(最終アウトカム)・目指すべき状態・課題が解決した状態	事務の適正かつ効率的な運営の維持						
	対象者(受益者)	道路河川管理課所管事務に従事する職員						
	現状・課題	適正かつ効率的な運営の継続						
	事業の概要	道路河川管理課の運営にかかる事務						
	年間の主な事務	1.予算及び決算に関する事務 2.行政評価及び事業計画等に関する事務 3.物品の契約及び整理、保管に関する事務 4.職員の休暇及び服務に関する事務 5.文書の収受、発送及び整理、保管に関する事務						

2. 事務事業への投入コスト(インプット)

人員体制 (人)	R6年度実績	R7年度実績	R8年度実績	R9年度実績
正職員	1.00人	1.00人	—	—
再任用	0.00人	0.00人	—	—
任期付職員	0.00人	0.00人	—	—
会計年度任用職員	0.00人	0.00人	—	—
特別職非常勤	0.00人	0.00人	—	—
附属機関委員	0.00人	0.00人	—	—

決算額 (千円)			R6決算額	R7決算額	R8決算額	R9決算額	R7予算額(参考)	予算執行率(参考)
歳出	内訳	正職員、再任用、任期付職員	7,688	8,209	—	—		
		会計年度任用職員	0	0	—	—		
		特別職非常勤	0	0	—	—		
		附属機関委員	0	0	—	—		
	人件費計		7,688	8,209	—	—		
	物件費計		1,890	2,513	—	—	2,707	92.8%
歳出計			9,578	10,722	—	—		
歳入	国庫支出金		0	0	—	—	0	
	府支出金		0	0	—	—	0	
	受益者負担(使用料・手数料)		0	1,467	—	—	1,496	
	市債		0	0	—	—	0	
	その他		44	39	—	—	327	
歳入計(物件費に充当される特定財源)			44	1,506	—	—	1,823	
一般財源(物件費充当分のみ)			1,846	1,007	—	—	884	

(留意事項)
※正職員・再任用・任期付の人件費は、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
※「歳入」欄には物件費に充当されるもののみ記載されています。

3. 具体的な活動（アクティビティ）

年間の主な活動指標	単位	R6実績	R7実績	R8実績	R9実績
① ―					

4. 活動による結果（アウトプット）および変化・便益（アウトカム）

ロジックモデル

アウトプット（活動が産み出した結果）

アウトプット①

説明：―

指標：―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

直接アウトカム（結果による変化・便益）

アウトカム①

説明：―

指標：―

	R6	R7	R8	R9	単位
目標					―
実績					―
算出方法	―				

5. 中長期的な変化・便益（中間アウトカム）

―

6. 取組実績に対する自己分析・総括

R6年度	適正に事務を執行した
R7年度	適正に事務を執行した
R8年度	
R9年度	

7. 今後の取組方針（改善・対応策など）

R8年度取組方針	継続して効率的な事務執行を行う。	R8年度方向性	現状維持

参考 方向性の経過	R6年度の方向性（R5実績測定）	R7年度の方向性（R6実績測定）	R8年度の方向性（R7実績測定）	R9年度の方向性（R8実績測定）	R10年度の方向性（R9実績測定）
	現状維持	現状維持	現状維持	―	―